

「性別にとらわれない自分らしい生き方を目指す」

市民意識調査

ご協力をお願い

日ごろから、市政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。長久手市では、性別にとらわれず能力を発揮し、利益と責任を分かちあえるまちづくりを、長久手市全体で進めていくために、第3次男女共同参画基本計画（長久手市 DV 防止基本計画を含む）を策定します。

ついては、計画に反映するため、市民の皆様のお考えやご意見をお伺いする「市民意識調査」を実施します。

この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から、無作為に選んだ2,000人の方にご協力をお願いするものです。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、この調査は無記名でご回答ください。また、結果の集計や分析は統計的に処理いたしますので、個人の回答内容が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。

平成30年 月

長久手市長 吉田一平

ご記入のお願い

●ご記入の際に

- 1 必ず封筒の宛名のご本人がご記入ください。氏名の記入は必要ありません。
- 2 回答は、必ず回答票にご記入ください。
- 3 質問によっては、お答えいただく数が1つの場合と複数の場合があります。
- 4 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内のとおりお答えください。
- 5 「その他」を選んだ場合は、その内容を回答票に具体的にご記入ください。

●調査票の返送について

無記名のまま、回答票を同封の返送用封筒に入れて、 月 日 () までにポストへ入れてください。

●調査についてのお問い合わせ

長久手市くらし文化部たつせがある課交流推進係 0561-56-0641（直通）

回答は、調査表に直接ご記入ください。

あなたご自身についてお答えください。

問 1

各質問にあなた自身が該当する項目を選んで、調査票のその番号に○をつけてください。

(1) あなたの性別は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。

1	男	2	女	3	その他
---	---	---	---	---	-----

(2) あなたの年齢は、次のうちどれですか。

1	18～19歳	3	30～39歳	5	50～59歳	7	70～79歳
2	20～29歳	4	40～49歳	6	60～69歳	8	80歳以上

(3) あなたの職業は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。

1	農林業	4	公務員	7	学生、生徒	10	その他
2	自営業	5	団体職員	8	家事専従		
3	会社員	6	アルバイト、パートタイマー	9	無職		

(4) あなたのお宅にはどのような方が同居していますか。次のうちあてはまるものをすべて選んでください。

1	小学生未満の乳幼児	3	65歳以上の高齢者	5	同居人はいない
2	小・中学生	4	1～3以外の同居人		

(5) あなたのご家族の形態は、次のうちどれですか。次の中から選んでください。

1	単身（一人暮らし）	3	親子（2世代）	5	その他
2	夫婦のみ	4	親・子・孫（3世代）		

男女平等意識についてお答えください。

問 2

あなたは、次の(1)～(7)の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。1～6から1つずつ選んでください。

質問項目	回答項目					
	1 優遇されている 男性の方が非常に	2 どちらかといえば男性 の方が優遇されている	3 平等である	4 どちらかといえば女性 の方が優遇されている	5 優遇されている 女性の方が非常に	6 わからない
(1) 家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
(2) 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
(3) 学校のなかで	1	2	3	4	5	6
(4) 地域のなかで	1	2	3	4	5	6
(5) 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(6) 政治(政策決定)の場で	1	2	3	4	5	6
(7) 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問 3

男女があらゆる分野で平等になるためには何が重要だと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 法律や制度の見直しを行い、性差別につながるものを改める
- 2 女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める
- 3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図る
- 4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る
- 5 行政や企業などの重要な役職に女性を積極的に登用する制度を採用・充実する
- 6 学校教育や社会教育・生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
- 7 その他 ()
- 8 わからない

結婚についてお答えください。

問 4

結婚について、「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

仕事についてお答えください。

問 5

あなたは、女性が職業をもつことについてどのように考えますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 女性は職業をもたない方がよい | |
| 2 結婚するまでは職業をもつ方がよい | |
| 3 子どもができるまでは職業をもつ方がよい | |
| 4 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい | |
| 5 その他 () | |
| 6 わからない | |

問 6

あなたは、女性が増えるとよいと思う職業や役職は何だと思えますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 企業の管理職 | 7 都道府県、市町村の首長 |
| 2 国家公務員、地方公務員の管理職 | 8 国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員 |
| 3 小学校、中学校、高等学校の管理職 | 9 その他 |
| 4 弁護士、医師などの専門職 | 10 わからない |
| 5 大学、企業などの研究者 | |
| 6 自治会、PTAなどの役員 | |

ワーク・ライフ・バランスについてお答えください。

問 7

あなたは、生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。

A (希望として)、B (現実として) についてそれぞれ1つ選んでください。

A 希望として

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしたい
- 8 その他 ()
- 9 わからない

B 現実として

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしている
- 8 その他 ()
- 9 わからない

家庭・子育て・介護・地域等についてお答えください。

問 8

「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|--------------|---------|
| 1 賛成 | 4 反対 |
| 2 どちらかといえば賛成 | 5 わからない |
| 3 どちらかといえば反対 | |

問 9

あなたは、仕事以外に地域で何か活動に参加した経験はありますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1 現在参加している |
| 2 以前参加していたが、現在は中止している |
| 3 参加したことはない |

問10

あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|---|
| 1 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす |
| 2 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす |
| 3 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかる |
| 4 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重する |
| 5 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高める |
| 6 労働時間短縮や休暇制度が普及し、仕事以外の時間をより多く持てるようにする |
| 7 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、啓発や情報提供を行う |
| 8 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高める |
| 9 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりをすすめる |
| 10 仕事と家庭の両立などの問題について男性が相談しやすい窓口を設ける |
| 11 その他（) |
| 12 特に必要なことはない |
| 13 わからない |

問11

あなたは、子育てについてどのような考えを持っていますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 男の子らしさ、女の子らしさにとらわれず、個性を尊重する方がよい |
| 2 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい |
| 3 その他（) |
| 4 わからない |

問12

あなたは、これからの子どもに対し、どのようなことを身につけてほしいと思いますか。男の子の場合と女の子の場合について、それぞれあてはまる番号を(1)～(10)の項目から3つまで選んで○をつけてください。(男女同じ番号を選んでも構いません。)

質問項目	男の子	女の子
(1) 言葉遣いや立ち振る舞いを注意する		
(2) 気配りのある子に育てる		
(3) たくましく育てる		
(4) 家事能力(料理・掃除等)のある子に育てる		
(5) リーダーシップのある子に育てる		
(6) 自立心のある子に育てる		
(7) やさしい子に育てる		
(8) 経済力のある子に育てる		
(9) 4年生大学以上に進学させる		
(10) 技術や資格を身につけさせる		

DV・JK ビジネス等についてお答えください。

問13

あなたは、配偶者、パートナーまたは恋人との間において、DV(ドメスティックバイオレンス)の経験がありますか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 被害の経験がある | 3 被害、加害ともに経験がある |
| 2 加害の経験がある | 4 経験がない |

問14

問13で「1」～「3」と回答した方にお聞きします。あなたは、DVについて誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 相談しようとは思わなかった | 6 医師・カウンセラーなどに相談した |
| 2 相談したかったが、相談しなかった | 7 家族・友人・先生などに相談した |
| 3 公的な相談機関に相談した | 8 その他 |
| 4 民間の相談機関に相談した | () |

問15

問14で「1」または「2」と回答した方にお聞きします。あなたが、誰（どこ）にも相談しなかったのは、なぜですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 相談しても無駄だと思った
- 2 相談場所がわからなかった
- 3 相談する人がいなかった
- 4 自分さえ我慢すればやっていけると思った
- 5 自分にも悪いところがあると思った
- 6 仕返しを受けると思った
- 7 他人を巻き込みたくなかった
- 8 子どもに危害が及ぶと思った
- 9 相談するほどのことではないと思った
- 10 その他（)

問16

あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力を、いわゆる「ドメスティック・バイオレンス（DV）」と呼ぶこと
- 2 DVには、殴る、蹴るなど身体的暴力だけでなく、精神的・性的暴力も含まれること
- 3 DV被害者を支援するために、法律（「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」）が制定されていること
- 4 県が設置している配偶者暴力相談支援センターにおいて、相談や被害者の一時保護を行っていること
- 5 DVを受けている者を発見した者は、配偶者暴力相談支援センター又は警察に通報するよう努めなければならないこと
- 6 その他（)
- 7 知らない

問17

あなたは、配偶者、パートナーまたは恋人からの暴力について相談できる窓口をご存知ですか。知っている相談窓口をすべて選んでください。

- 1 配偶者暴力相談支援センター（愛知県女性相談センター）
- 2 ウィルあいち（愛知県女性総合センター）
- 3 長久手市役所
- 4 警察
- 5 民間の団体や機関（民間シェルター、弁護士会など）
- 6 法務局、人権擁護員、法テラス
- 7 その他（)
- 8 相談窓口として知っているところはない

問18

あなたは、JK ビジネスという言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている（内容も理解している）
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

行政の取組についてお答えください。

問19

男女共同参画に関する用語に関して、見たり聞いたりしたことのある言葉について、次の中からすべて選んでください。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1 男女共同参画社会 | 7 DV（配偶者、パートナーまたは恋人からの暴力） |
| 2 女子差別撤廃条約 | 8 長久手市男女共同参画情報誌『にじいろ』 |
| 3 ポジティブ・アクション
（積極的改善措置） | 9 長久手市男女共同参画情報誌
（中学生向け）『自分らしく』 |
| 4 ジェンダー（社会的性別） | 10 見たり聞いたりしたものはない |
| 5 男女雇用機会均等法 | 11 わからない |
| 6 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） | |

問20

あなたは、男女共同参画社会を実現するために、長久手市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からすべて選んでください。

- 1 審議会や各種委員会に女性を積極的に登用する
- 2 長久手市の管理職に女性を積極的に登用する
- 3 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を充実する
- 4 保育施設や保育サービス等の子育て支援を充実する
- 5 介護施設や介護サービス等の福祉施策を充実する
- 6 学校教育において、男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する
- 7 労働時間の短縮や在宅勤務、柔軟な労働時間制度など、男性も含めた働き方の見直しを進める
- 8 子育てや介護中であっても、仕事が続けられるよう支援する
- 9 子育てや介護等でいったん仕事をためた人の再就職を支援する
- 10 男女の平等と相互の理解や協力について、市広報紙やパンフレットなどでPRする
- 11 その他（）
- 12 特に必要なことはない
- 13 わからない

LGBT についてお答えください。

問21

あなたは、LGBT という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 知っている（内容も理解している）
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答票を同封の返送用封筒に入れて、 月 日（ ）までにポストへ入れてください。